

高台まちづくりの推進

都市安全確保拠点
整備計画の
詳細はこちら



鳥飼地区河川防災
ステーションの
詳細はこちら



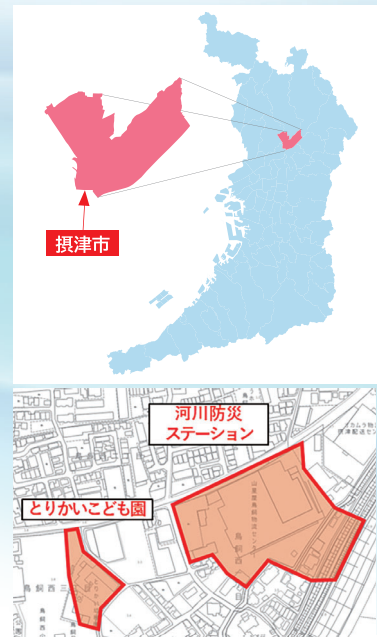
摂津市で推進している「高台まちづくり」は、浸水しない安全な場所への事前の広域避難を原則としつつ、特に広域避難が難しい障がい者や乳児等の避難行動要支援者等の生命と身体を守るための高台にした避難場所をまちづくりと一体となって確保するもので、その避難場所である「高台」をネットワーク化し、長期化する浸水被害からさらに安全な場所に避難したり、救出できるようにします。

■都市安全確保拠点整備計画

令和5（2023）年3月に「都市安全確保拠点整備計画」を策定しています。

淀川、安威川の洪水時に広域避難が困難な避難行動要支援者等が一時的に避難できる施設を建設します。対象は「とりかいこども園」「河川防災ステーション」「水防センター」で、これら施設は「一団地の都市安全確保拠点施設」として、災害時における居住者等の安全を確保する拠点となります。

平常時は、地域コミュニティの形成・強化・活性化、地域のにぎわい創出、子育て世代あるいは子ども同士の交流促進、地域防災力の向上等に資する複合型交流拠点、地域子育て支援拠点等として活用していきます。



■鳥飼地区河川防災ステーション

1.概要

鳥飼地区河川防災ステーションは、淀川の洪水被害を最小限とするため、国土交通省が災害時の緊急復旧活動を行う上で必要なコンクリートブロックなどの緊急用資材の備蓄、駐車場、ヘリポート等の整備を行うと共に、摂津市が水防センターを設置するなど災害時の活動拠点となる施設です。

摂津市では、周辺施設の高台化及び河川防災ステーションとの接続による高台まちづくりを推進するとともに、コミュニティスペース、防災訓練や防災教育の場としての活用など、平常時の利活用を推進することで、地域の賑わいづくり及び地域の防災に対する意識向上を図ります。

2.整備内容

国土交通省：盛土造成
緊急復旧用資材の備蓄、
ヘリポート等
摂津市：水防センター



出典:国土交通省

■民間企業や市民に期待することなど

高台まちづくりはすぐにできるものではなく、また高台で地域の市民等全員を受け入れることは出来ませんので、水害発生の際には、事前の広域避難をお願いしています。なお、河川防災ステーションの上部施設となる水防センターの平常時の機能や河川防災ステーションの平常時の利活用については、今後、鳥飼まちづくりグランドデザインにおけるまちづくりの一環としてワークショップ等を通じて検討していきたいと考えていますので、是非ご協力をお願いします。

(摂津市が進める鳥飼まちづくり)

鳥飼まちづくりグランドデザインの推進

摂津市では、全国的な傾向と同様に人口減少、少子高齢化の課題に直面しています。特に、鳥飼地域は、少子高齢化の進展が著しく、市内の他地域と比べて人口の流出超過が目立ちます。また、鳥飼地域は淀川と安威川に挟まれた地理的特徴から、想定最大規模の洪水が発生し、淀川が氾濫した場合、全域が水没し、最大浸水深が7mを超え、浸水継続時間が2週間以上となる場所もあり、非常に高い水害リスクがあります。他にも、鳥飼地域は交通、教育、福祉等の多岐にわたる課題に直面しています。このため、誰もが「安全・安心」に過ごし、「にぎわい」と「暮らしやすさ」が調和したまちをめざし、令和4（2022）年7月、鳥飼まちづくりグランドデザインを策定しました。

鳥飼まちづくり
グランドデザイン
の詳細はこちら



■まちづくりエリアの設定

多様な地域資源に合わせて4つの「まちづくりエリア」を設定、地域ごとの特徴に磨きをかけ、まちづくり(グランドデザイン)を検討しています。

①人ともものが集まる賑わい（核）エリア

…多くの人が集まる、歩いて居心地の良い空間とモノレールの安心感がある

②居住性向上エリア

Aエリア：水の潤いを感じ、ゆとりある居住空間があり、円滑に広域避難ができる

Bエリア：「暮らし」の中に「農」があり、円滑に広域避難ができる

Cエリア：水と緑が調和した利便性の高い暮らしと円滑な広域避難ができる

③企業と住民の共存発展エリア…住民と企業が共存、互いに理解し、価値を高め合うことができています

④田園（農業とのふれあい）エリア…芸術など新たな価値を付加した「農」のある空間ができています

【将来予想イメージ】



人ともものが集まる賑わい(核)エリア



居住性向上エリア (A)



居住性向上エリア (B)



居住性向上エリア (C)



企業と住民の共存発展エリア



田園(農業とのふれあい)エリア

■民間企業や市民に期待することなど

鳥飼まちづくりグランドデザインでは、住民の皆さんにまちづくりの計画段階から参加いただく形で進めていくこととしており、鳥飼地域で説明会やワークショップを開催しております。鳥飼地域を魅力のある街にしているために、鳥飼地域の地理的特性である水害に対しても防災の観点からまちづくりに取り組み、将来を見据え、鳥飼地域をどのような地域にするかを、市と住民や事業者等の皆さまと共通の認識を持ち、協働して取り組んでいきたいと考えています。

これからの鳥飼のまちづくりについて一緒に考えませんか？